



—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

月刊

ポケットあわじ



サルにまつわる 干支せトラ

VOL.164

もくじ P1 淡路島モンキーセンター P2 干支の置物・サルコレ1 P3 干支の組み木・サルコレ2 P4 干支瓦・サルコレ3 P5 十二支どうぶつえん・さざんか P6 淡路文化会館・淡路消費生活センターからのお知らせ・プラットフォーム淡路島からのお知らせ P7.8 淡路の文化活動・イベント情報



淡路島のサルだけが
できる
サル文字



サル団子



あけまして
おめでとうございます。



淡路島

モンキーセンター



Monkey - Center



洲本市畑田組 2 8 9 ☎0799-29-0112

「厄が去る(猿)」、「山の賢者」として、また、「神の使い」として信仰の対象としてもなじみ深いサル。人気者のサルが今年の干支です。淡路でサルといえばやはり、ここでしょう。「淡路島 モンキーセンター」。モンキーセンターのサル文字で新年のごあいさつ。

淡路島モンキーセンターは、野生ザルに餌付けを行い、自然な形でふれあう施設として開園。(1967年)多くの人が一度は訪れたことのある施設ではないでしょうか。たくさんの野生のサルとふれあえるというのが、当園のセールスポイントですが、最近ではサル文字でも有名です。(写真)サル文字は文字の形にまいたエサをサルが食べることでサルが文字を作ること。それなら文字の形に餌をまけばどのサル園でもできることではないかと思いますが、センター長の話を聞いてびっくり。サル文字が作れるのは世界中さがしても他にはなく、淡路島モンキーセンターのサルだけ。サルたちがけんかを

せず、仲良くならんで餌を食べる、小さくて弱いサル達があが上位のサルの横で餌を食べるようなことは、サルの社会ではあり得ないそうです。なぜそういったことが起きるのか。それは淡路島のサルの群れはサル同士の寛容性が非常に高く、DNAにその謎があるらしいとのこと。現在大阪大学大学院で研究中とか。施設内を散策していてもサルたちはおっとりとして来園者を見つめていました。ここでは力ではなく優しさで群れをまとめることができるサルがリーダーとして認められるそうです。仲の良い円満なサル社会を形成している群れをみて、なにか教えられたような気がしました。

2016年、申年。我々の社会もそうであることを願いたいものです。新年三が日の午後、猿文字の実演も行われるそうです。灘黒岩水仙郷とあわせて出かけませんか？「難が去る(申)」、今年も良い年でありますように。(応援隊：村上紀代美・坂本 厚子・岡まさよ・川原 雅代)

寿山窯

徳田壽春さんがつくる 干支の置物

淡路市生穂大谷 TEL:090-3626-5898(徳田 壽春さん)

淡路市大谷にある寿山窯をたずねました。紅葉がとても美しく、山の緑と青空のコントラストがとても爽やかでした。徳田さんは30代半ばで趣味として陶芸を始め、現在は福良と大谷に窯を構えています。



毎年末に作る様々な干支の置物を見せていただきました。サルを作るときの秘訣は、表情をあまりリアルにせず、抽象化することだそうです。素朴な感じが何ともいえず素敵ですね。(写真上)

実際に作業を見せていただきました。菊練りは、菊の紋がきっちり出る練り方で、完全に空気を抜くことが大切だそうです。徳田さんが、ろくろを回しているのを見ると簡単そうに見えましたが、実際は『土練り3年ろくろ8年』と言われるほど、熟練の技が必要だそうです。

毎年、津名中学校の「トライやる・ウィーク」の生徒を受け入れています。毎日作品を作るそうなので、すごく楽しそうです。こんな素敵な場所で、素敵な徳田ご夫妻とともに毎日陶芸体験ができるなんて、羨ましい!!!

(応援隊:藤本 法美・池田けい)

徳田さんの作品



菊練り



土練り3年ろくろ8年



かためき



電気がま



2016 島のサルコレ Part1

明盛堂のおさるせんべい



イングランドの丘のリスザル

TEL 0799-43-2626

イングランドの丘の体験教室でつくってみよう!

かわいいおさるのこねこねキャンドル



昭和42年から、コツコツと一人でこだわりの手焼きせんべいを焼いています。

明盛堂 魚盛三さん
淡路市室津1931番地
TEL 0799-84-0319

天地の物を大切に
社会のお役に立つ経営

matsumoto 受け継がれる自然の恵み
マツモト産業株式会社

本社 〒656-0473 兵庫県南あわじ市小井123番地
TEL 0799-42-5000 <http://www.matsumoto-group.co.jp>

マテリアル事業部(石材部・セメント部・コンクリート部)・建材部(建材1課・建材2課)

【マテリアル事業部】
■本社営業部
■神戸営業所
■小野営業所
■九州営業所

【建材部】
■建材1課
■建材2課
■神戸営業所

松瀬謙輝を発見しました

山本 正明さんがつくる

干支の組み木



組み木の十二支



木のぬくもりがあったかい♪



「組み木」ってご存知でしょうか。板で作ったパズルのようなものです。組み木にはいろいろな形がありますが、その組み木をアレンジして毎年干支の組み木を作っている山本 正明さんのアトリエにお伺いしました。お年を聞くと81才だそうですが、とても81才に見えない元気な姿で迎えていただきました。アトリエの室内は、今まで描いた絵画や組み木などの作品がたくさん飾られています。

山本さんは、平成7年3月末に退職するまで洲本市内の中学校で美術教諭として教鞭をとられていました。山本さんの得意分野は日本画で、退職後も淡路島の風景画を主に創作活動を続け、市内のお寺のふす

ま絵なども描いています。我家の菩提寺のふすま絵も山本さんが描かれたものです。

組み木との出会いは、勤務していた中学校のクラブ活動で作り始め、お孫さんへのプレゼントなども作っています。今までは雛人形やこいのぼり、時計、昆虫、自動車などいろいろな作品を作っています。由良郵便局にも山本さんの作品が飾られています。

干支の組み木を作り始めたのは12年前の申(さる)からで、今年の申は2巡目になります。毎年大きさや形が違う干支3~4種類のを100個以上作製しているそうです。「毎年楽し

みにしてくれていて、喜んでもらえるのが嬉しいし、作り甲斐があります」とおっしゃっていました。材料に使うのは、イチヨウの木が多くケヤキやヒバ、ヒノキなども使います。一番多く使うイチヨウの木は、高級な板にも使われていて油分が多く粘りがあって作業もしやすく、木肌が白くて美しくできあがるのだそうです。申の組み木を作製しているところを見せていただきましたが、細かい作業が多くあって、完成するまでとても根気のいる作業が続きます。これからも健康が続く限り、干支のほかいろいろな組み木を作っていきたいなあって話されていました。(応援隊:田村 幸久)

問い合わせ:山本正明さん(洲本市由良1丁目20-31)電話 0799-27-1071

2016 島のサルコレ Part2

淡路カントリーガーデン

イケメン
ニホンザル
しんのすけくん



特定動物許可証付。
兵庫県規格のオリで、淡路市の許可をとって飼育しています。

洲本巖島神社のジャンボ絵馬



見ざる聞かざる言わざるの諺どおりに生活すると記事が書けなくなります。見て聞いて感じて書いて、2016年も楽しい「ポケットあわじ」を作ります。今年もよろしく願いいたします。応援隊の田村より



淡路瓦工業組合に所属する2社が
毎年干支瓦を製造しています。

正月に飾りたい縁起物

干支瓦



瓦製造会社「ミハラ」の干支瓦

瓦製造会社「ミハラ」では、円形の干支瓦を製造販売しています。鬼師さんがデザインしたもので、いぶし焼の他に鉄分を多く含む粘土を使った黒とう焼も生産しています。

縁起物として京阪神などから注文が入るのですが、毎年ご注文頂いてるお客様とは、ご注文の内容だけでなく、お互いの近況や色々なお話をされるようで、つい長電話になる事もあるそうです。又、子供や孫が生まれるのでその子の干支瓦をとの注文もあるそうです。

淡路島特産の鬼瓦の製法を用いて焼き上げられる干支瓦は、屋根瓦の原料の粘土で瓦を製造する工程で作上げられます。いぶし焼きの干支瓦の自然の銀色の光沢は、心を落ち着かせてくれる輝きです。

製品は、淡路島の西部で採れる良質の粘土に細かい砂を配合して、粘りと腰のある粘土を作り成型します。1日寝かせて粘土から水分が少し抜けたら、表面を磨き、室内で自然乾燥。乾いた白地の上に、きめ細かい土を溶かした液を上薬としてかけます。これが、淡路のいぶしの光沢の秘密です。窯入れし、1000度以上で焼成します。焼き上がってから、ハケで表面をこすり、すず取りをするので綺麗ないぶし銀の肌のいぶし焼の完成です。



干支瓦は自然の粘土から出来るので、1枚1枚銀の輝きが違います。



新崎将和製瓦の扇形干支瓦

新崎将和製瓦では、扇形の干支瓦を製造しています。干支瓦は30数年前からあるもので、最初は、屋根瓦の形でしたが、後に扇形になり15年前から引き継ぎ製造しています。「招」「福」の文字は、筆で金色に塗って仕上げます。

(応援隊:小原 町子)

<問い合わせ>

瓦製造会社「ミハラ」 TEL 0799-38-0083
淡路瓦工業組合 TEL 0799-38-0570

2016 島のサルコレ Part3

サルスベリ 植物編

幹の皮が滑らかなのでサルもすべる木。洲本市宇山には並木があります。



サルトリイバラ

刺のある茎に追い込まれるとサルも動けなくなる木。端午の節句の頃よく食べられる「いびつ餅」にはカシワの代わりにこの木の葉が多く使われます。

ツルッ



サルノコシカケの仲間

サルも腰を掛けられそうな棚状で半円形の厚くて固いキノコ。たくさん仲間があり漢方薬として使われているものもあります。

サルナシ

サルが我を忘れて食べる小さなキウイフルーツのような実がなる木。

獅子舞の茂助



島のお祭りにつきものの獅子舞。獅子にからみ、あおる役に茂助が欠かせません。おサルのお面をつけた子ども達の茂助のしぐさはとてもかわいいものです。写真は、洲本八幡神社春祭りで細工町の子も達がつけるおサルのお面です。

岩井 清さんがつくる

十二支どうぶつえん



心癒される手造りの

イヤなことはサル!

ほのぼの



申さる

淡路市富島から県道北淡東浦線を上がって、神戸淡路鳴門自動車道下り線の仁井バス停近くの四差路のそばに、岩井清さん制作の十二支(干支)が道行く人や車を「今日も元気で」「気をつけて」と優しいまなざしで見守ってくれます。

岩井さんは平成10年に開通した高速道路の記念に自生の竹やノリ網を使って明石海峡大橋の模型を作り、橋の開通を喜んでいたのですが、竹では毎年作り直す必要があり、アイデアマンである岩井さんは旅行に行くとお土産物にある置物からヒントを得て、自分にとって作りやすいさぎ(1999年)から毎年1ヶ月位かけて十二支全部を作り上げ、今は勢ぞろいして愛嬌を振りまいています。

今年は、申年。岩井さん作のサルは2004年生まれなので満12歳になります。人間なら4月から中学生ですが、サルの世界では…。表情は大人の顔立ちで、凛としています。サルの年は、イヤなことは去ると言われています。今年は、世界中平和で幸福な年でありますようにと



未ひつじ

願わずにはられません。

手造りが得意な岩井さんは、発泡スチロール、ベニヤ板、農業資材の心棒、針金などを使って型を作り、鉄筋やネットを入れてコンクリートで固め、ペンキを塗って仕上げています。重さは180kg~200kgあるため、ユンボで移動しています。動物たちの大きさは遊園地にある遊具と変わらないので、子ども達がよく遊んでくれて、耳や尻尾が変形したり壊れてしまったりしていますが、岩井さんにはこやかに「ここは車も駐車できるスペースもあり、ちょっと一休みして動物と遊んだり、美しい景色を眺めて自然を満喫して安全運転で帰ってほしい。動物も子ども達と一緒に遊んで乗ってもらって、作った頃よりも表情が豊かになった」と話されています。

皆さんも一度、西浦と東浦のちょうど真ん中、山の背あたりで笑顔いっぱい十二支に会いに行ってみて下さい。ほのぼのとした温かい気持ちになること間違いなしですよ!

(応援隊: 廣岡ひろ子)

岩井 清さん(淡路市小田821 TEL 0799-82-2437)

生活創造活動グループ紹介

パソコングループ「さざんか」



謹賀新年

今年も多幸年でありますよう
心よりお祈り申し上げます
2016.1.1

〒656-1501 淡路市富島

淡路文化会館「いざなぎ学園」のサークル活動には、「パソコン初級」「パソコン中級」がありますが、その活動を卒業しても、なお学びたいということで、現在も生活創造活動グループとして活動しているグループが3つあります。「さざんか」さんはそのうちの1つです。代表の熊野さんにお話を伺いました。

『「さざんか」は、現在3人でパソコンの勉強をしています。指導は、中舎先生にお願いをしています。1ヶ月に2回のペースで行っています。活動の内容は、文書の作成や日常生活に必要なこと、例えば年賀状や手紙の中に写真を取り入れるようなことなどを学んでいます。左の年賀状は、先日の例会で作成したものです。』

今後もお元気で活動をしてください。(会館担当)



淡路文化会館からのお知らせ(淡路生活創造応援隊の募集・いざなぎ学園入学のご案内)

淡路生活創造応援隊も募集します!!

あなたも生活創造ボランティアに参加してみませんか?

◆**主な活動内容**：本会館発行の月刊情報誌生活創造しんぶん「ポケットあわじ」に関する取材・寄稿・配布等です。

◆**主な活動日**：毎月末1回の編集会議(楽しい情報交換の場となっています。)

◆**会議の場所**：淡路文化会館(淡路市多賀600)

◆**募集条件**：淡路島内にお住いの方で、生活創造活動に理解のある方
【問い合わせ先】

淡路文化会館

TEL:0799-85-1391

Fax:0799-85-0400



「いざなぎ学園」入学のご案内

この学園では、おおむね淡路島内の中高年の皆さんを対象とした学習、趣味伸長、仲間作り、そして、地域活動の講座を行っています。

<募集開始> 平成28年1月13日(水)より

<オープンキャンパス>

○会場:淡路市地域総合センター(一宮ふるさとセンター)

○日時:1月13日(水),1月20日(水),2月3日(水)
いずれも 9:30~15:00(受付9:00)

○内容:1/13 教養講座「ウォーキングをすれば健康増進できますか?」

サークル活動A

1/20 教養講座「元気に歌おう!」

サークル活動B

2/3 実技実習講座「ペットボトル風車」「やさしい太極拳の動き」

サークル活動A

※午前に講座見学、午後にサークル活動見学

淡路消費生活センターからのお知らせ

★最近の相談★

プリペイドカードの購入を指示する サイト業者に注意しましょう!

【事例】

サイトを利用し業者に料金を請求された。その支払手段としてサーバー型のプリペイドカードを購入し、カードに記載されている番号を連絡してしまった。騙されたと思う。

【トラブルにあわないためには】

- ・よく分からないまま相手にカード番号を伝えたり、指示された番号にチャージしないようにしよう。
- ・もし番号を伝えたり、チャージしてトラブルになった場合はプリペイドカードを購入したことを証明するレシート等を保管し、早急にプリペイドカード発行会社に連絡し最寄りの消費者センターに相談してください。

兵庫県淡路消費生活センター

消費生活相談・多重債務相談

☎0799-23-0993

9:00~12:00 13:00~16:30

(土日祝日・年末年始は除く)



淡路島のまち・地域づくり活動を応援する
「プラットフォーム淡路島」からのお知らせ

新春! 賀詞交歓会

「食ベニケーション! 地域づくり活動交歓会」開催!!

今回行う活動交歓会では、島内島外の地域団体や、行政職員、個人その他、様々な活動をされている方との交流や団体の活動事例発表の場として、幅広い方にご参加していただける場となっています。当日は、軽食(生田米を使用した農カフェ八十八夜のカレー、生田村ソバ)などもご用意しておりますが、おつまみ等の持ち寄り(3名~5名分)も大歓迎です!! お仕事終わってからもご参加できる時間帯となっております。受付後は出入り自由ですので、お気軽にご参加ください!!

新春! 賀詞交歓会

「食ベニケーション!! 地域づくり活動交歓会」

- 日 程 平成28年1月29日(金)
- 時 間 午後5時~午後8時まで※受付は午後4時30分
- 会 場 洲本市文化体育館 会議室1A-1
洲本市塩屋1丁目1番17号

- PRタイム 1団体約3~5分程度
- 持 ち 物 名刺、活動がわかるチラシ等 (50枚程度)
- 参加費 1,000円
- お問合せ 淡路県民局県民交流室 県民・商工労政課内
TEL) 0799-26-2043 FAX) 0799-26-3090
Mail) awajikem@pref.hyogo.lg.jp



施設等	イベント	日時・会場他	料金・問合せ先他
淡路島くにうみ協会 〒656-0022 洲本市海岸通1-11-1 TEL 0799-24-2001 FAX 0799-25-2521	第七回永田青嵐顕彰 全国俳句大会表彰式 及び特別講演会 (第6回淡路島くにうみ 講座) 講演：俳句の言葉 講師：金田一 秀穂氏 (杏林大学外国語学部教授)	2/28(日) 14:00~16:40 洲本市文化体育館 300名(※事前申し込みが必要 です。)	無料 【問】(一財)淡路島くにうみ協会 0799-24-2001 0799-25-2521(FAX)
	冬咲きチューリップ ショー開催! ※真冬の屋外に咲くチュー リップをぜひご覧ください。 淡路島の温暖な気候を活か した冬咲きチューリップショ ーを開催します。同時開催の ふるまいや産直市などのイベ ントも。期間中、4品種620鉢を 屋外展示。	1/16(土)~2/中旬まで 初日11:00~(オープングレ ー) 洲本市民広場内	無料 【問】(一財)淡路島くにうみ協会 0799-24-2001
淡路島 国営明石海峡公園 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10 TEL 0799-72-2000 FAX 0799-72-2100	あわジオフェスティバル	~1/11(月・祝) ※12/31、1/1は休園日 10:00~16:00 ビジター棟	イベントによって異なる ※別途入園料・駐車料金が必要 【問】明石海峡公園管理センター 0799-72-2000
兵庫県立 淡路夢舞台温室 「奇跡の星の植物館」 〒656-2306 淡路市夢舞台4 TEL 0799-74-1200 FAX 0799-74-1201 10:00~18:00(最終入館 17:30)	ニューイヤーイベント ☆紅白まんじゅうプレ ゼント	1/2(土) 13:00~ 先着100名	参加費無料 ※別途入館料要:大人600円、65 歳以上(要証明)300円、高校生 300円、中学生以下無料
	特別展 淡路夢舞台ラン展2016	1/23(土)~3/6(日) ※1/18~22はラン展準備の ため臨時休館	入館料:大人1,500円、65歳以上 (要証明)750円、高校生750円、 中学生以下無料
	斎藤正博氏 「王者のラン教室」	1/24(日) 14:00~15:00 ※予約優先	参加費無料 入館料:大人1,500円、65歳以上 (要証明)750円、高校生750円、 中学生以下無料
兵庫県立 淡路景観園芸学校 〒656-1726 淡路市野島常盤954-2 TEL 0799-82-3455 FAX 0799-82-3124	花と緑のまちづくりを学ぼう! 生涯学習講座「平成28年 度まちづくりが「デナ」本科 コース(前期)」受講生募集 ※植物の栽培・維持管理、花と 緑のまちづくりの基礎的な知識・ 技術を学ぶ。	期間：4~9月(8月を除く) のうち月3日 募集人員：80人 申込締切：3/11(金)必着	費用：15,700円(実習材料費など 別途) 所定の申込書を同校へFAX等で (応募多数時は抽選)
淡路人形座 「1月公演」 『戎舞』 『火の見櫓』 〒656-0501 南あわじ市福良甲1528 -1地先 TEL 0799-52-0260 FAX 0799-52-3072	1/1(金)~10(日)、14(木)~19(火)、22(金)、28(木)~31(日) 大人1,500円 中高生1,300円 小学 生1,000円 幼児300円 10:00、11:00、13:00、14:00、15:00 「戎舞」・「人形解説」・「伊達娘恋緋 鹿子 火の見櫓の段」 ※23(土)は出張公演のため休館します。 1/11(月・祝) 大人1,500円 中高生1,300円 小学生1,000円 幼児300円 10:00、13:00、15:00 「戎舞」・「人形解説」・「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」 大人1,000円 中高生800円 小学生 600円 幼児200円 11:00、14:00 「人形解説」・「戎舞」 1/12(火)、24(日) 大人1,000円 中高生800円 小学生600円 幼児200円 10:00、11:00、 13:00、14:00、15:00 「人形解説」・「戎舞」 1/21(木)、25(月)、26(火) 大人1,000円 中高生800円 小学生600円 幼児200円 10:00、 11:00 「人形解説」・「戎舞」 大人1,500円 中高生1,300円 小学生1,000円 幼児300円 13:00、14:00、15:00 「戎舞」・「人形解説」・「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」 ※上演内容は予告なく変更になる場合があります。 【正月イベント】 1/1(金・祝) 10:00の開演前(9:45)におめでたい三番叟を行います。 ※当日、10:00のお芝居を鑑賞されるお客様のみとなります。 1/1(金・祝)・2(土) 毎公演後に鑑賞された方に福豆をプレゼント 【1月の休館日】1/6(水)、13(水)、20(水)、23(土)、27(水) ※23(土)は臨時休館いたします。	費用：15,700円(実習材料費など 別途) 所定の申込書を同校へFAX等で (応募多数時は抽選)	

施設等	イベント	日時・会場	料金等
淡路島くにうみ協会 〒656-0022 洲本市海岸通1-11-1 TEL 0799-24-2001 FAX 0799-25-2521	第30回「あわじ花と緑のコンクール」入賞作品パネル展示 ※「人・花フォトコンテスト」の入賞作品と合同展示	1/7(木)~1/31(日) 洲本市文化体育館 1Fエントランス	鑑賞無料 【問】淡路島くにうみ協会 0799-24-2001
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	県立あわじ特別支援学校 交流・体験チャレンジ事業 校外作品展 ※兵庫県立あわじ特別支援学校の生徒が制作した平面、立体の作品展	1/16(土)~17(日) 10:00~18:00 ※最終日は15:00まで 会議室1A-3	無料 【問】あわじ特別支援学校 0799-22-1766
洲本市民工房 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-22-3322 FAX 0799-22-3322	仲野壽志木版画展 ~半どんの会文化賞受賞を記念して~ ※水性木版画約30点 特別展示「春陽会版画芸術の支柱をなした作家たち」銅版画3点、木版画2点	1/10(日)~17(日) 10:00~17:00 ※最終日は16:00まで 3Fギャラリー	入場無料 【問】洲本市民工房 0799-22-3322
	淡路美術協会会員展 ※洋画・日本画・写真・書道・彫塑工芸の5部門からなる、淡路美術協会の主な事業。芸術文化の発展を目的に会員の作品の発表の場を設け、毎年1月に開催することで淡路島の芸術文化の発展を目指しています。	1/22(金)~24(日) 10:00~17:00 ※最終日は16:00まで 3Fギャラリー	入場無料 【問】洲本市民工房 0799-22-3322
洲本市市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	洲本市公私立幼稚園 幼児画展 ※幼稚園児の絵を展示します。	1/5(火)~24(日) 9:00~21:00 ※月曜日休館 アールギャラリー	観覧無料 【問】市民交流センター 0799-24-4450
南あわじ市 滝川記念美術館玉青館 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1 TEL 0799-36-2314 FAX 0799-36-5408	平成27年度 館蔵品展Ⅲ	1/5(火)~31(日) 9:00~17:00 ※入館は16:30まで ※月曜日休館(ただし1/11は開館)	大人300円 高大生200円 小中生100円 ※小中生は「ココロカード」「のびのびパスポート」利用可 【問】玉青館 0799-36-2314

放送大学 兵庫学習センター・姫路サテライトスペース 『入学説明会・相談会』開催 ~オープンキャンパス~

- ◆ 内容 放送大学の概要説明、放送授業体験、施設見学、個別相談
- 1 場 所 兵庫学習センター(神戸大学六甲台キャンパス内)
- 日 時 平成28年2月6日(土)、13日(土) 13:30~15:30 ※申込み不要
- 2 場 所 姫路サテライトスペース(イーグレひめじ地下2階)
- 日 時 平成28年1月16日(土)、17日(日)、2月14日(日) 13:30~15:30



編集だより

明けましておめでとうございます。2016年(平成28年)申年が明けました。今年も生活創造しんぶん「ポケットあわじ」をよろしくお願ひいたします。今月は、「申年」という干支にちなんだ特集です。島内にいろいろなおサルさんたちをさがしてみました。本物のおサルさんをはじめ、縁起物になったり、神社のお祭りに登場したり、信仰の対象になったり・・・今年はおサルさんに注目してみませんか。(会館担当：中田)



「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、毎月3,000部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約220カ所に無料配布しています。淡路文化会館のホームページには、カラー版を掲載していますので、是非ご覧ください。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。 <http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/>

(発行) 淡路生活創造応援隊
淡路文化会館

〒656-1521 淡路市多賀600
 TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400
 E-mail : a-pocket@hyogo-ikigai.jp

